

項目	内容
名称	アマチャヅル [英]Sweet tea vine、 Gospel herb、 Jiaogulan [学名]Gynostemma pentaphyllum (Thunb.) Makino
概要	<p>アマチャヅルは、ウリ科に属する多年生、つる性草本植物で、茎は4～5 m、根茎は横走する。花期は8～9月。6～8月に葉を採集して日干しにし、薬用部分として使用する。北海道～九州、朝鮮半島、中国、インド、マレーシアに分布。中国語名は絞股藍で、古くから咳や慢性気管支炎の民間療法に使われていた。アマチャヅルの葉や茎から薬用人参と同じ構造をもつサポニンが多く同定されたため、第二のニンジンと呼ばれその健康効果が注目されている。</p>
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全草：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> ・葉にはダンマラン系サポニンである20 (s) -プロトパナキサジオールを基本骨格とする多くのギペノサイド類を含むことが報告されている。これらはオタネニンジン (<i>Panax ginseng</i> C.A. Meyer) のサポニンに類似し、同一の化学構造のものも数種見出されている(29)。
分析法	<ul style="list-style-type: none"> ・数十種類のサポニンが分画、精製、構造決定され、加水分解後に、構成糖であるグルコース、キシロースがガスクロマトグラフィーにより分析されている (1988044822) 。

有効性

循環器・呼吸器	
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・感覚器	RCT ・慢性的なストレスや不安がある健康な成人男女72名（試験群36名、平均35.28±10.38歳、韓国）を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、1日おきのストレス負荷課題とともに、アマチャヅル葉抽出物200 mg×2回/日を8週間摂取させたところ、不安評価尺度3種類（5項目）中1項目（特性不安）のみ低減が認められた。一方、他の4項目、自律神経系機能検査、心拍変動および血中ノルエピネフリン、副腎皮質刺激ホルモン、唾液中コルチゾール、α-アミラーゼに影響は認められなかった (PMID:30599899)。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。

ヒトでの評価

参考文献

- (1988044822) 薬学雑誌. 1987;107(4):262-7.
(92) 現代中薬薬理学 天津科学技術出版社
(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS).
(1988074137) 名古屋市衛生研究所報. 1987; 33:51-6.
(29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館
[\(PMID:23796877\) J Ethnopharmacol. 2013 Aug 26;149\(1\):228-34.](#)
[\(PMID:23583485\) Food Chem Toxicol. 2013 Jul;57:262-5.](#)
(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳
[\(PMID:30599899\) Phytomedicine. 2019 Jan;52:198-205.](#)